

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		水・食料・生活必需品の備蓄				所管	総務部 危機・災害対策課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	104	計画事業名	避難者対策の推進		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進					[事業開始] 平成13年度			
		[小 柱] (4)安全・安心の充実強化					[終了予定] - 年度			
		[施 策] ③避難者・帰宅困難者対策								
	根拠法令等	法令(義務)		[法令等名]	災害対策基本法					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	災害時における被災者の生命の安全を確保するとともに人心の安定を図るため、平常時より食料・生活必需品・資器材等を備蓄する。								
事業内容 [29年度]	災害時、避難者に供給する災害対策用物資・資器材の購入と備蓄品関係業務委託 食 料: 保存水、アルファ化米ごはん、とん汁、クラッカー、梅干し、粉ミルク等 衛生用品: おむつ、生理用品、哺乳瓶、排便袋									
委託の有無	一部委託		委託内容	災害時用医療セット詰替、埋設トイレ保守点検、備蓄品移動						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率		
	活動指標	災害対策用食料買入数		食	98,220	94,910	74,010	44,560	49,560	89.9%
		災害対策用備蓄食料数		食	364,480	361,120	359,217	364,480	361,120	100.9%
	決算額 (単位: 千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位: 千円)	人にかかるコスト (人件費など)				47,752	6,015	5,352	25,965	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				47,498	47,498	50,256	25,711	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				255	255	255	255	
		総経費				53,768	53,768	55,863	29,318	
	財源項目 (単位: 千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0	0	0	0	
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				0	0	5,486	0	
一般財源 (区負担額)				53,768	53,768	50,377	29,318			
前回評価から29年度に改善した事項	多様化する区民ニーズに対応するため、ハラル対応やアレルギー対応の備蓄品を導入した。また、備蓄品を保存年限の長いものにし、今後の入れ替えの頻度を減らすことで、効率的な備蓄への取り組みを進めた。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	災害時に備えた、食料・飲料水・生活用品・資器材等の備蓄は必要不可欠である。							
	効率性	3	価格と性能を検討し備蓄品を購入するなど、より一層効率的な備蓄に努めている。							
	手段の適切性	4	備蓄食料品等を、防災備蓄倉庫及び避難所へ備蓄し、適切に管理している。							
目的達成度	4	災害対策用の備蓄食料は目標を上回る数を備蓄するなど、災害時に備えて平常時からの備えを進めている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
アレルギー対応の備蓄品の導入をはじめ、災害時に備えた食料や生活必需品の備蓄を着実に進めた。今後も、多様化する区民ニーズに対応するため、地域の特性や社会状況に合わせた備蓄品の見直しなどを検討する必要がある。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		